

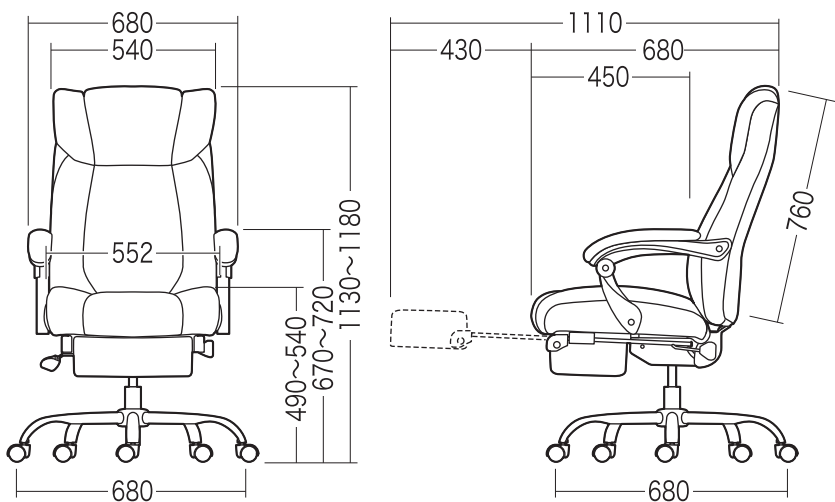
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の手順で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

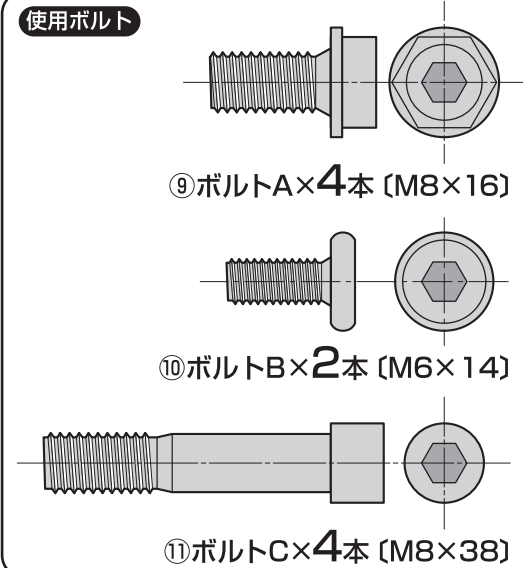
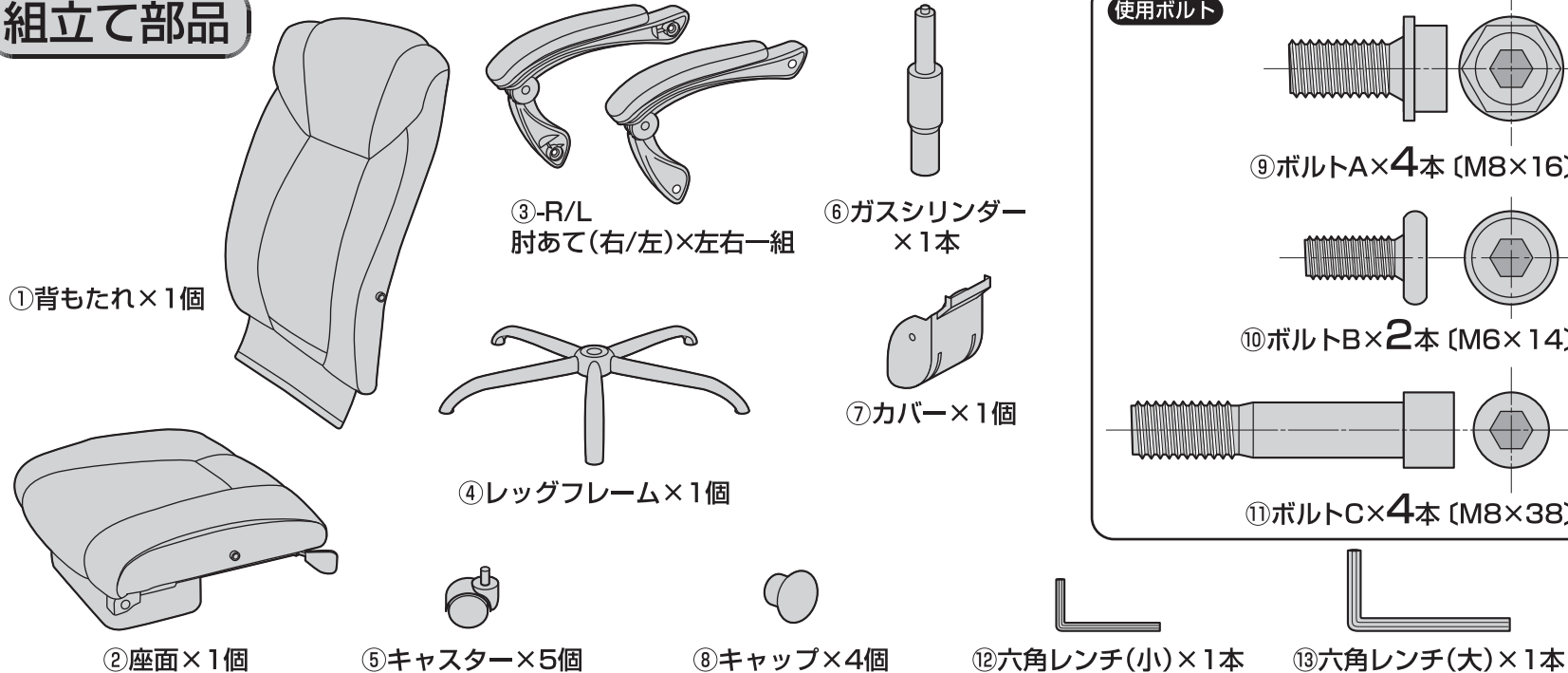
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・  
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

**完成図**



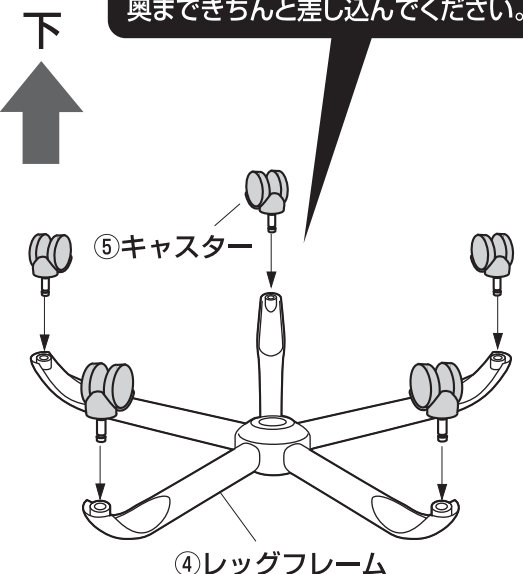
**組立て部品**



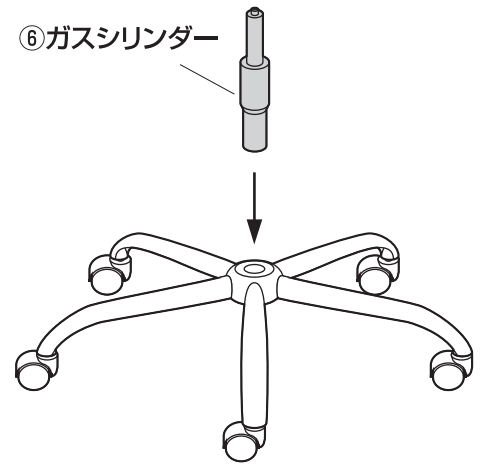
**1** レッグフレームをひっくり返し、  
キャスターを取付けます。

**注意**

それぞれのキャスターは全て圧入式  
です。(手ではめこむ)  
奥まできちんと差し込んでください。



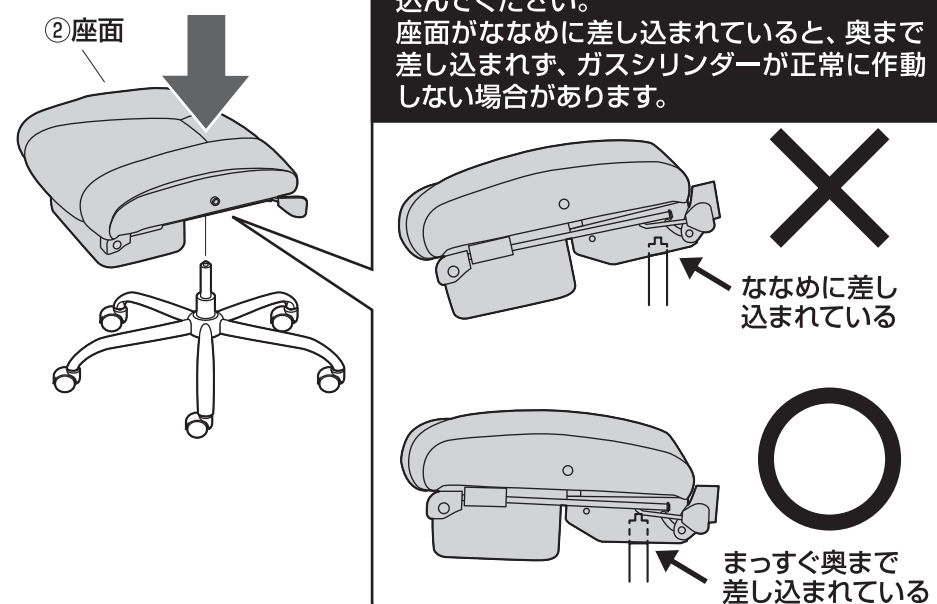
**2** レッグフレームにガス  
シリンダーを差し込みます。



**3** ガスシリンダーに座面を差し込みます。

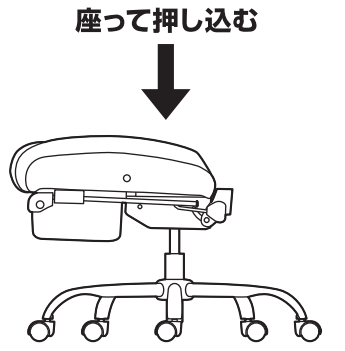
**注意**

座面をガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し  
込んでください。  
座面がななめに差し込まれていると、奥まで  
差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動  
しない場合があります。



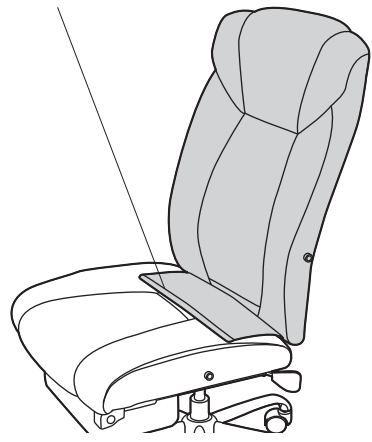
※ガスシリンダーが深く差し込まれ  
るように、座面にしっかり体重を  
かけてください。

※ガスシリンダーが深く差し込まれていない  
と、座面の高さ調節ができません。  
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダー  
を確実に差し込んでください。  
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く  
差し込まれない場合があります。

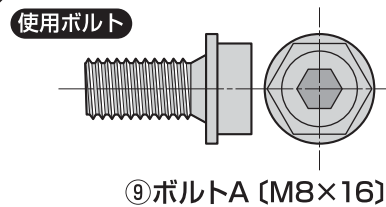
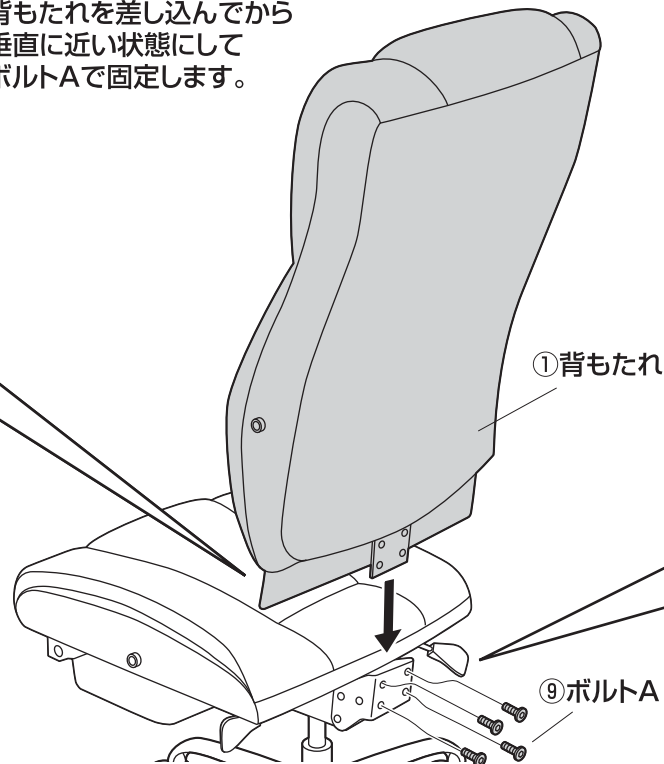


## 4 座面に背もたれを取付けます。

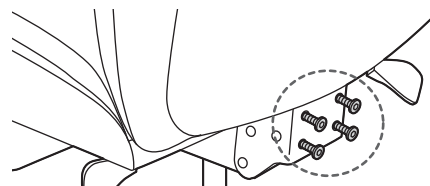
※背もたれの面ファスナーを座面の  
上に出しておきます。



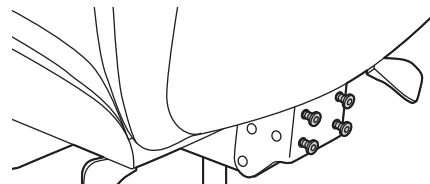
※背もたれを差し込んでから  
垂直に近い状態にして  
ボルトAで固定します。



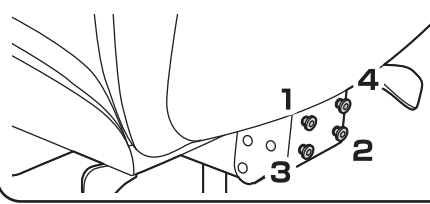
①4本のボルトをゆるく付けます。



②すべてのボルトを均等に少しずつ  
締め込みます。

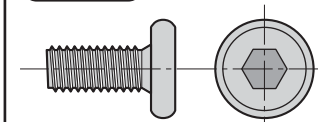


③最後に下図の1,2,3,4の順にきつく  
締めつけます。

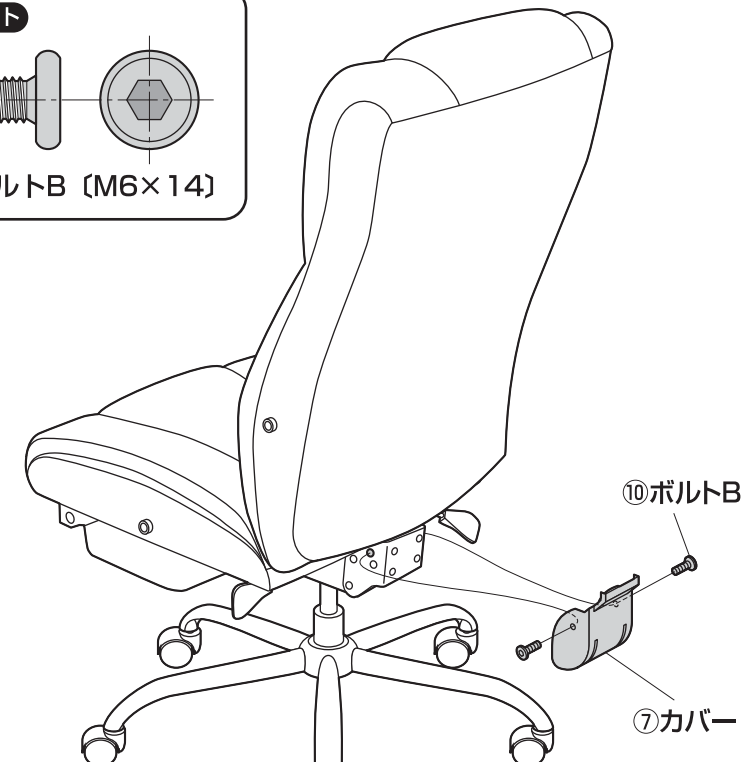


## 5 カバーを取付けます。

使用ボルト

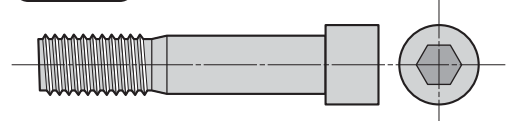


⑩ボルトB (M6×14)



## 6 肘あてを取付けます。

使用ボルト



⑪ボルトC (M8×38)

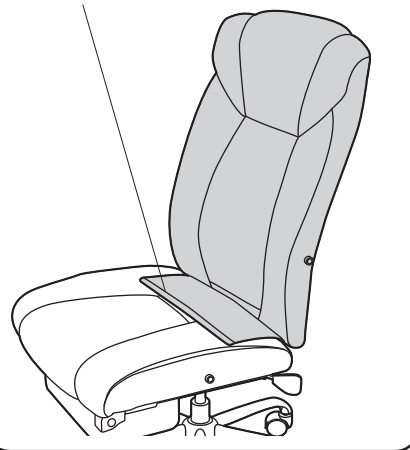


## 7 肘あてにキャップを取付けます。

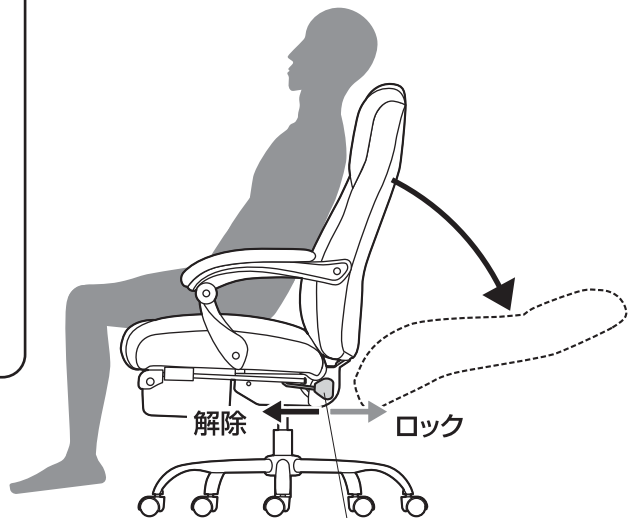


# 8 背もたれの面ファスナーを座面の裏側に付けて、完成です。

手順④で出しておいた背もたれの面ファスナーを右図の手順で座面裏側に取付けます。

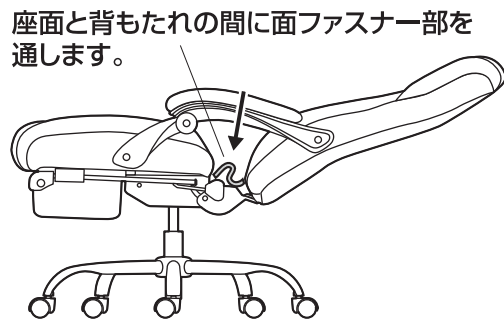


①座面に座り、背もたれを倒します。  
 ※レバーを解除の方向に動かします。  
 背もたれを水平近くになるまで倒します。  
 レバーをロックの方向に動かし背もたれをロックします。

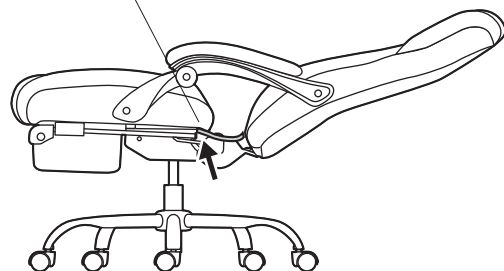


背もたれ角度調節レバー

②座面から降り、背もたれの面ファスナーを座面の裏側に付けます。



座面と背もたれの間に面ファスナー部を通します。

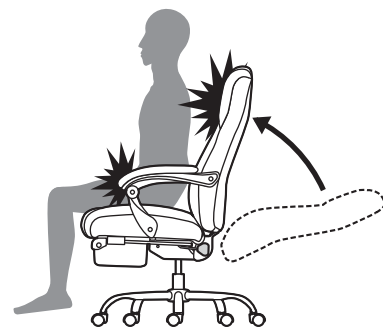


座面裏側の面ファスナーに付けます。

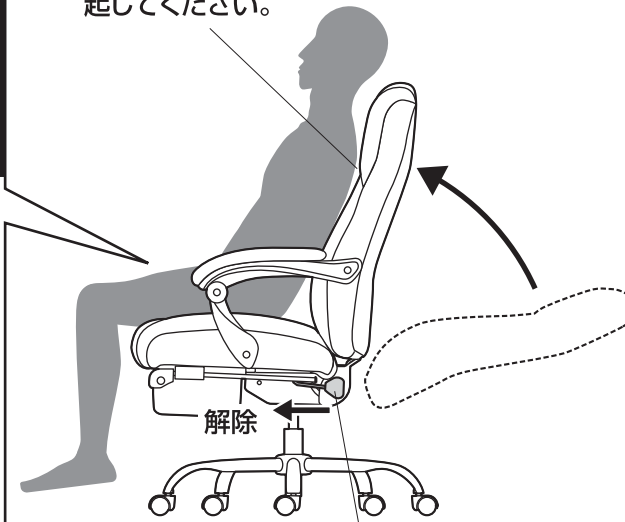
③再度座面に座り、背中をつけた状態で背もたれを起します。  
 ※背もたれに体重をかけずにレバーを解除の方向に動かすと背もたれが起き上がります。

⚠ 注意 ⚠

背中をつけずに背中を起すと、背もたれが勢いよく起き上がり、首や背中を強く打ったり、肘あての可動部分で指などを挟む恐れがあります。



※背もたれに背中をつけて起してください。



背もたれ角度調節レバー

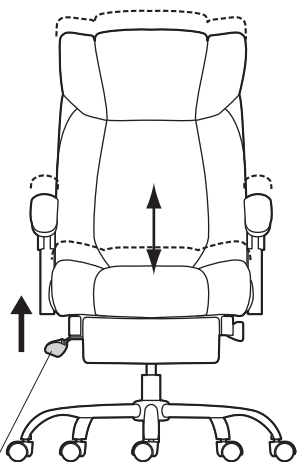
## 各部の調節方法

⚠ 注意 ⚠

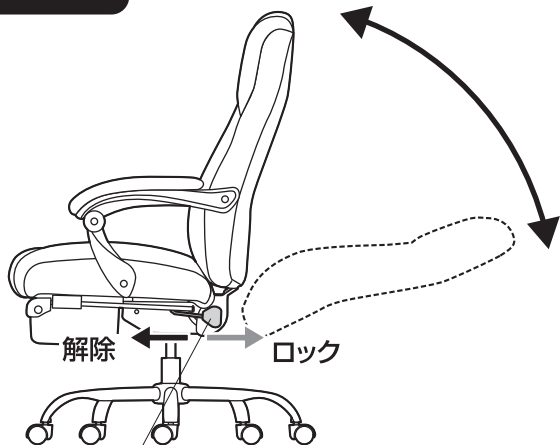
レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。

⚠ 注意 ⚠

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



レバーを引き上げると座面の高さ調節ができます。



レバーを解除の方向に動かすと、背もたれの角度を調節できます。レバーをロックの方向に動かすと、任意の角度で固定できます。

## オットマンの使用方法

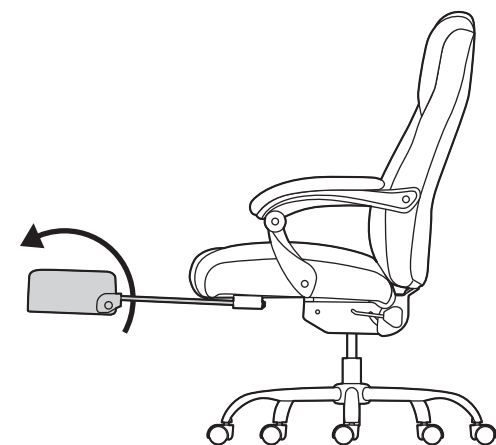
①座面の下からオットマンを引き出します。

⚠ 注意 ⚠

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



②オットマンを180°回転させます。

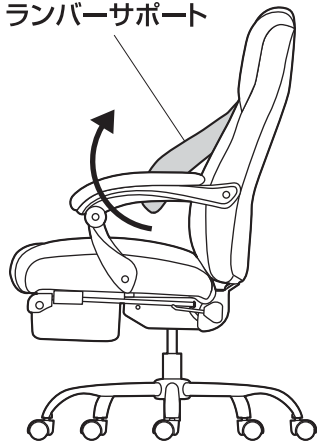


## ランバーサポートの調節方法

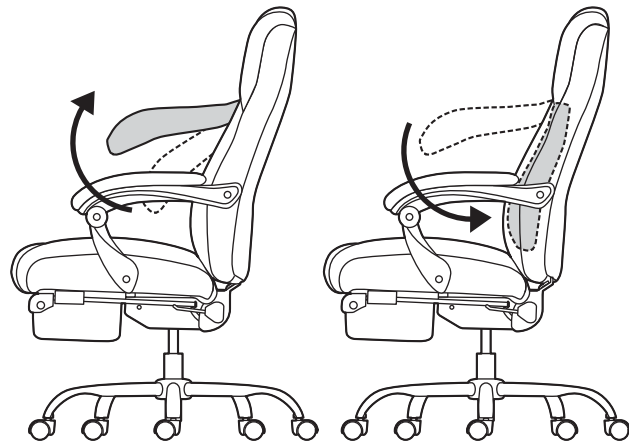
ランバーサポートの角度は4段階で調節可能です。

①ランバーサポートの下側を持って引き上げ、任意の位置でとめます。

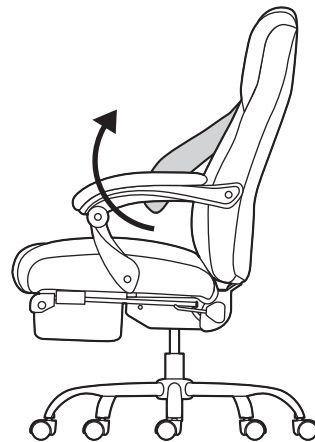
ランバーサポート



②ランバーサポートを最後まで引き上げ、戻します。



③ランバーサポートの下側を持って引き上げ、任意の位置でとめます。



## チェアの品質表示

外形寸法：幅680×奥行680～1110×高さ1130～1180mm（座面高さ490～540mm）  
構造部材：座部/合板 背もたれ部/合板 脚部/スチール キャスター部/ナイロン  
張り材：PULゼー  
クッション材：ウレタンフォーム

### ▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
  - 滑りやすい床面で使用しないでください。
  - 用途以外で使用しないでください。
  - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
  - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
  - 座面や肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
  - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
  - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
  - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
  - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
  - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。